

レジダール

紹介

私たちはイタリア・マルケ州で初めての芸術を支援する非営利団体で、アーティストをホストファミリーに迎え、文化的イベントを企画します。2012年6月に発足、2013年の11月17日に正式な非営利団体として認められました。

ことの始まり

国際的でハイレベルなカルチャーイベントをマルケ州にという希望を、地方自治体とホストファミリーが一体となる官民提携の有意義な関係により、アーティストはその当地の習慣を体験し、地元の人々はアーティストを個人的に家庭に招くことでアートをの日常生活の一部として経験するという豊かな相互関係の設立を実現しました。

誰が？

レジダールに登録する30以上のホストファミリーが、文化興進組織に招かれたアーティストを個人宅に受け入れ、滞在中の食事、住居、送迎などを無償で提供します。

どこで？

レジダールのホストファミリーネットワークはイタリア、マルケ州アンコーナ県カメラータピツェーナを中心にアグリアーノ、ポリヴェリジ、中世の丘と街を抜けて、アンコーナ、イエージまで広がっています。

何を？

レジダールは芸術的かつ文化的はイベントを主催あるいは共催します。特に、クラシック音楽、国際的なレベルのヴァイオリニストを応援していますが、他の文化振興組織のイベントが招くアーティストへのホストファミリーのサポートも調整します。

イベント

2012年

6月 レジダール発足

6月28日 「ヴェネツィア・マスクの政治的な意味」
マリー・ギジ・ストーム伯爵夫人による協議会

10月20日 ジャズミュージックショー エノティカ・オルトレヴィノとの共催

11月4日 堀米ゆず子氏と秋山未佳さんの下見訪問

2013年

9月18日から23日 カメラータ・ピツェーナにて画家ベッペ・フォンティ氏の展覧会

10月27日から11月5日 堀米ゆず子inイタリア 第一回国際バイオリン・マスタークラス開催

このイベントには2000人以上が関わりました。

イベント 2014年 予定

11月13日から23日 堀米ゆず子inイタリア 第二回国際バイオリン・マスタークラス、
カメラータ・ピツェーナ市とマクロコスミ・ミュージカ協会との共催。

マスタークラスのスケジュール (要確認)

11月13日 アンコーナ・ラファエロ・サンツィオ空港 到着

 ホストファミリー歓迎会

11月13日から21日 堀米ゆず子氏マスタークラス、伴奏者リュック・ドゥヴォス、秋山未佳

11月18日 学生コンサート

11月19日 学生コンサート

11月20日 学生コンサート

11月21日 堀米ゆず子と学生たちのコンサート マスタークラス・ファイナル・コンサート
 閉幕夕食会

11月22日 観光

11月23日 出発

マスタークラスの受講生募集要項

募集人数 最高12名まで

受講料 850ユーロ、食費、住居、閉幕夕食会費、一日観光込み。

現地までの飛行機代、エアポートバス、レンタカー代は含みません。

申し込み方法 Eメールか郵送

申し込み先 Eメール:

info@residart.it , yuzuviolin@nifty.com , daniela.andreoni@skynet.be ,

fabiolabaldoni67@gmail.com , info@macrocosmi.eu

telephone: (+39) 328 7896134; (+39) 334 31 48 289

郵送

Residart

Via Dante Alighieri, 8, int.2

60020 Camerata Picena

Italy

締め切り2014年9月30日まで

受講料振込先

Residart

IBAN IT96G0316901600CC0010763598

BIC/SWIFT: INGDITM1XXX

問い合わせ先

daniela.andreoni@skynet.be

申込書

氏名
ふりがな
生年月日
住所
Eメール
携帯電話番号

アンケート

皆様の快適な有意義な滞在のため、次の質問にお答えください。
参加経験者はこのアンケートに答える必要はありません。

一般面

- 1、イタリアに行くのははじめてですか？
- 2、マルケ州をご存知ですか？
- 3、観光で一番好きなのは何ですか？風景、美術、ショッピング、モード、食べ物
- 4、あなたの趣味は何ですか？

企画面

- 5、ルームシェアでもいいですか？ ルームメイトはだれがいいですか？
- 6、何語を話しますか？
片言でもかまわないので、イタリア語が少しでも分かればその旨お書きください。

ご協力ありがとうございました。

レジダールアーティストゲストハウス

マクロコスミミュージカ

プレスリリース

堀米ゆず子 in イタリア

オリュンポス山からの最後の女神と

マルケ州テラ・ディ・カステリーの人々との出会い

2013年10月27日から11月5日まで、日本を代表する国際的バイオリニスト堀米ゆず子の第一回国際バイオリンマスタークラスがイタリア、マルケ州カメラータ・ピチエーナ、カッセロ城にて開催されました。初回のマスタークラスには、秋山未佳を伴奏者に招き、ベルギー、フランス、ドイツ、日本、カザフスタン、イタリア、スペイン、スロヴェニアから12人の受講者と2人の聴講生を受け入れました。世界各地で定期的にマスタークラスに招かれている堀米ゆず子氏は、是非今回の経験を活かして定期的にこの地で優秀なバイオリンの学生に芸術を追求する場を提供できないかという、主催者レジダールの熱心な声に応えて、年一回のペースでマスタークラスを続けて行くことに同意しました。

レジダールはカメラータ・ピチェーナ周辺の5つの町に住む家族で構成されており、この地域の文化振興組織に招かれる芸術家の滞在中、部屋や食事など日常生活に必要なことを個人宅で提供し、公演する土地でアーティストとゲストハウスの主人との儀礼的ではなく個人的な親身な文化交流を目指しています。

今回、堀米氏を始め、マスタークラスの参加者はそれぞれ、カッセロ城近くに住むホストファミリーに暖かく迎えられ、日中行われたバイオリンレッスンの後、堀米氏と共に近郊にある美術館を訪れたり、夕食会で地元の人々たちとの親交を結びました。

マスタークラス開催中、受講学生はカッセロ聖ロッコ教会、マルケ州アンコーナ県ジェンガにあるフラサッシ鍾乳洞、キアラヴァッレ市立劇場で催された学生コンサートの出演に備えて練習に励み、カメラータ・ピチェーナ近郊の丘々にヴァイオリンの音色が響き渡る10日間となりました。

そして、11月3日にはイエージの第13回ペルゴレージ・スポンティーニ・シンフォニック・フェスティバル閉幕に際して待望の堀米ゆず子氏のバイオリンリサイタルが催されました。

愛用する名器ガルネリ・デル・ジェスとピアニスト、リュック・ドゥヴォスと共に、ペルゴレージ劇場に現れた堀米ゆず子氏。"オリュンポス山から降りて来た最後の女神"(音楽批評家 ティトガット氏)は、その圧巻な演奏でマルケ州の聴衆を完全に魅惑しました。

レジダールは第一回堀米ゆず子国際バイオリン・マスタークラスの開催に際して、カメラータピチェーナ市の援助と、マルケ州の音楽分野で活躍するペルゴレージスポンティーニ財団とマクロコスミミュージカ協会にパートナーシップを求め、州の音楽活動を代表する新しいメンバーとしての一步を実現することが出来ました。堀米氏、カメラータピチェーナ市、パートナー、ホストファミリー、マスタークラスに関わったすべての人々の協力に心から感謝し、これから長い目でテラディカステリーの'芸術の丘'を育て続け、私たちの地域に幅広い文化を根付けることに役立ちたいと思います。